

## あたらしいパワースポットみつけた！

### 陰陽師の里を探訪(佐用町江川地域)

安倍晴明と芦屋道満の呪術比べ、朝廷では、内裏で争いに負けたほうが弟子になるという呪術勝負を持ち掛け、負けた道満は清明の弟子になり地方に流されたが、呪術を続けることにより朝廷の崩壊を祈っていた。それを聞いた清明は「道満憎し」と亡き者にするため、追っ手を佐用町大木谷の地に差し向け、三日三晩に渡って双方壮絶な戦いを繰り広げ、盛んに式神を放つ清明に対して、式神を使わなかった道満がついに力尽きこの地で討ち死にした。という伝説がある。一説には、清明もこの地で息絶えたと伝わっており、当時の人々が、甲大木谷地区に安倍晴明、乙大木谷に芦屋道満を供養する石碑を建立し、谷筋を挟んで対峙している。

江川地域では、当時に思いをさせ、各コスプレに身を包んだ町内外の参加者と共に、七夕行列「願いよ！届け」と銘打って、安倍晴明塚と芦屋道満塚を結ぶコースで、旧暦の七夕の日に近接する、8月の第1日曜日に、当時の衣装を身に着けた清明と道満を先頭に盛大且つ厳粛に開催され、清明塚では神事、道満塚では仏事と護摩焚きを執り行ない地域の人々と供養をしています。

(アクセス) JR姫新線佐用駅・中国自動車道佐用ICから北西に約6km 車で15分



安倍晴明塚



芦屋道満塚



当時の衣装を身に着けての七夕行列

## “童謡「赤とんぼ」のふるさと巡りツアー”に参加して

たつの市は童謡「赤とんぼ」の作詞者三木露風が生れた地として良く知られている。歌のモデルとなったのは赤トンボの代表種であるアキアカネだと言われている。そのアキアカネは、昔は全国的にどこにでもたくさん見られた“普通種”だったが、最近はほとんど見られなくなったと聞く。

今回は、たつの市でそのアキアカネを増やす活動をしているNPO法人たつの・赤トンボを増やそう会主催の日帰りツアーに参加した。

平成29年7月9日(日)、朝10時過ぎにJR姫新線竜野駅に集合し、同会のメインの実験施設“トンボ池”へ移動。ここでは、なんと！赤トンボ(アキアカネ)を人工飼育しているらしい。最近5年間の累計で約1,000以上羽化させたという。施設の概要説明を聞いた後、アキアカネのヤゴを見せてもらった。そして、本命の“羽化したてのアキアカネ”がカゴの中から取り出され、初お目見え。ツアー参加者から、“思っていたより小さいねえ”とか、“本物のアキアカネを初めて見て感激した”という声が聞かれた。

その後、アキアカネが育つ農法で栽培している田んぼへ移動。この“たつの赤とんぼ米”の田んぼでも羽化したばかりのアキアカネを観察した。そして昼食は、国民宿舎赤とんぼ荘で赤とんぼ米を使った弁当を味わった。このお米は甘みがあって大変美味しかった。

午後は、三木露風生家や露風の銅像、霞城館など、三木露風のゆかりの場所や古い町並みなどを観光ガイドに解説して頂きながら、ゆるやかな下り坂を歩き、ゆっくり楽しむことができた。

今回のツアーで実際にアキアカネを見たので、秋になったらひょっとしてアキアカネが本当に見られるようになるかもしれない。今すぐではないにしても、近い将来そのようになる可能性を感じた。



トンボ池で羽化したてのアキアカネを観察



赤とんぼ米の田んぼでもアキアカネ観察



三木露風生家を見学



如来寺にある三木露風の筆塚を見学

## 「明かりの郷たつの」(超巨大イルミネーションツリー)



主催：明かりの郷たつの実行委員会  
開催日：毎年12月初旬(点灯式)～末日  
場所：たつの市揖保川町野田

平成28年12月3日(土)に野田水源地イルミネーション点灯式に参加してきました。

西播磨の命を守る“水の源”が、たつの市揖保川町に有ります。高さ51.8mの円筒型配水塔が建つ、西播磨水道企業団野田水源地です。この水源地は、当初昭和14年3月に、当時の相生町(現在の相生市)の水源地確保の為に築造され、昭和61年に、東洋一の高さを誇る巨大配水塔が完成しました。又一方では、この水源地に隣接し、半田コミュニティーセンターがあり、半田小学校3年生を中心に、アイガモさん有難うの感謝祭を開催しているようです。(平成27年12月、兵庫県「人間サイズのまちづくり奨励賞」受賞)

ある時、地元住民の方が室内に飾った小さなクリスマスツリーを見て、窓の外の高い配水塔を飾って、ツリーにすればとの発想が浮かんだそうです。



↑平成29年12月2日点灯式



その結果、翌年(平成26年)の感謝祭に、巨大ツリーが出現しました。約2万個のLEDが放つ巨大ツリーは、まさしく～光と水と緑でつなぐ一元気・西播磨～のシンボルであると思います。

平成29年度も、12月2日(土)午後5時から、第4回目の点灯式を盛大に開催し「野田水源地の超巨大ツリー」として、近隣の皆様に親しまれています。